

ヒートショックの予防に効果的 タカラスタンダード 新型の洗面ルームヒーターを発売

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪府城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、新型の洗面ルームヒーター（吊戸棚別体型）を2019年10月28日（月）に発売します。冬になると増加する高齢者のヒートショックが原因と考えられる死亡事故を予防するため、従来の吊戸棚と一体化しているタイプに加えて新たにラインアップし、設置性やデザイン性の向上を図ります。



暖房の効いたリビング等から寒い浴室へ一気に移動すると、急激な室温差により血圧が大きく変動することで起こる健康被害のことを「ヒートショック」と言います。消費者庁のデータ^(※)によると、高齢者の浴室事故は増加傾向で、2011年以降は交通事故を上回っており、今後もさらに増えることが予想されます。特に気温が低くなる冬場には、ヒートショックが原因と考えられる入浴中の事故が集中しますが、その予防策として入浴前に事前に脱衣場や浴室を暖めておくことが有効だと言われています。

従来、当社では洗面化粧台の吊戸棚に、タイマー予約が可能なルームヒーターを備え付けた一体型洗面ルームヒーターを販売していましたが、天井の高さが決まっているリフォーム工事では、現場によっては吊戸棚を設置できない場合もあり、この度、薄型で単独設置タイプの洗面ルームヒーターを販売する運びとなりました。洗面ミラーの上に設置することで脱衣場を暖めることもできる他、ルームヒーター単独で壁に設置することも可能なので、洗面化粧台のない脱衣場やトイレなどでもご使用いただけます。さらに、新しく温風の強弱を調整できる機能を追加しました。そして従来型と同様にタイマー予約機能が備わっているので、脱衣場を事前に暖め室温差を少なくすることで、ヒートショックの予防にも非常に効果的な商品です。また高さも103mm（最大部分）と薄型で、シンプルなスクエアデザインなので、インテリアの邪魔にならず、さまざまなコーディネートに対応します。

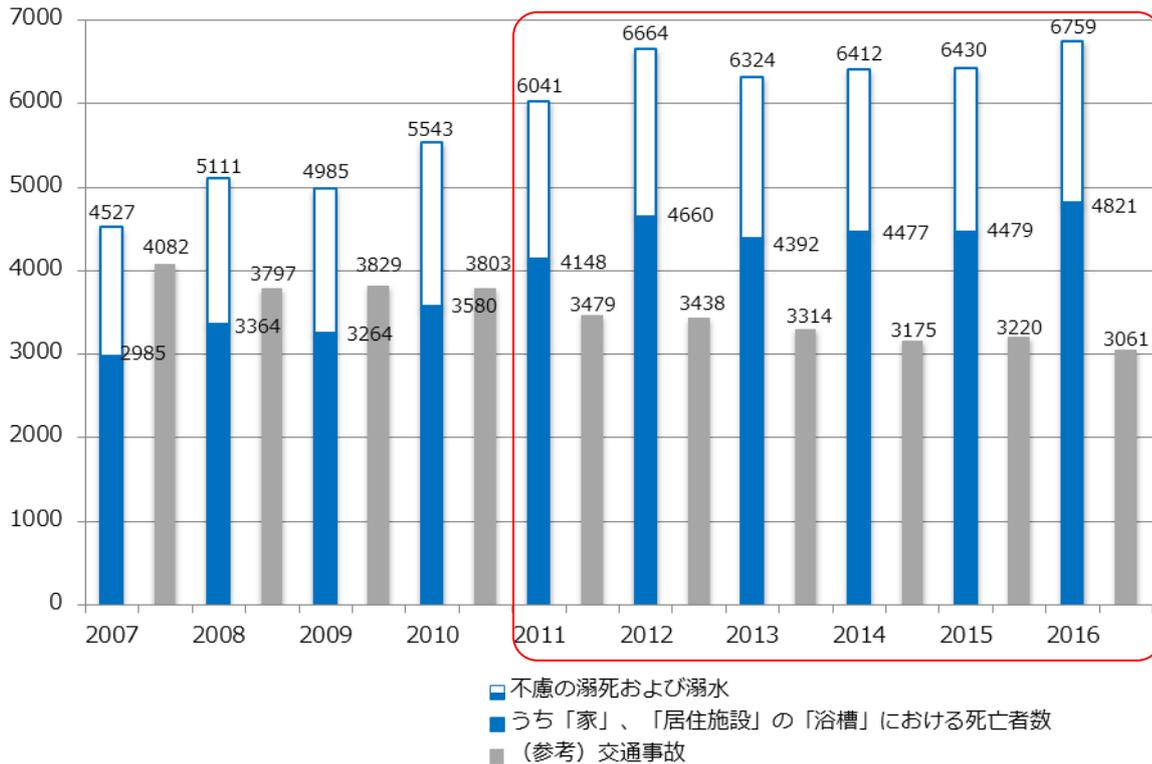
タカラスタンダードは、これからもお客さまに寄り添った商品の提案を通じて、安心安全で快適な暮らしをお届けします。

■商品詳細

- 商品名 : 洗面ルームヒーター（吊戸棚別体型）
- 発売日 : 2019年10月28日（月）
- 希望小売価格（税抜） : 49,800円
- サイズ : (W)745mm×(D)219mm×(H)103mm（最大部分）

■参考データ（※）

消費者庁「冬季に多発する入浴中の事故に御注意ください！」（2018.11.21）より



■設置イメージ

①ミラー上設置



②浴室出入口上単独設置（脱衣場側）



③トイレ設置



<タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

【設立：1912年5月30日（創業107年） / 売上高（連結）1,932億円（2018年度） / 従業員数（連結）6,186名】